

堺市 (大阪府)	ほんまもん資源	資源分類						指定・選定・認定等
	刃物・昆布・線香・和ざらしゆかた・五月鯉幟・手織緞通・自転車等の伝統技術、歴史的人物（千利休・与謝野晶子等）	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク
地域づくりの取り組みの特徴・PR	中世一の自由都市「堺」だからこそ育まれた日本一の職人技は、今なおこの地に継承されている。時が流れ、ものづくりがオートメーション化される中、今なお息づく伝統産業における匠の心と技を保全・継承する取り組みが様々な分野で展開されている。							

位置図		ほんまもん資源の概要			
 	<p style="text-align: center;">特徴（ほんまもん潜在能力度）</p>		<p style="text-align: center;">写真・図等</p>		
	<p style="writing-mode: vertical-rl;">独自性</p>	<p>資源の歴史・文化</p>	<p>【刃物】5世紀頃古墳群をつくるための道具製造集団が鍛冶技術発展の基礎をつくり、16世紀堺で初めて作られたタバコ包丁が輸入品より優れており、幕府が品質の優秀さを認め、「堺極」印の専売品として全国に販売した。</p> <p>【昆布】18世紀前半（江戸時代中頃）日本海沿岸から堺までの航路（北前船）が開かれ、大量の北海道産昆布が堺港に陸揚げされるようになり、昆布加工業も本格的に発達した。</p> <p>【線香】16世紀、中国から伝わった製法により既に製造されていた。当時は自由都市であり海外からの線香原料が入手しやすく、京都・奈良に次ぎ「泉南仏国」といわれる程寺院が多いことも線香製造を始めた要因と思われる。</p> <p>【和ざらし・ゆかた】17世紀江戸時代始め、水量豊かな石津川沿い毛穴地域に「和ざらし」産業が興ったこと、第2次世界大戦の戦災で、大阪市内ゆかた染色業界が和ざらし産地の堺に移転したことによる。</p> <p>【五月鯉幟】明治初期名古屋の紙鯉をヒントに大阪で手描きによる紙鯉の製造・販売が堺鯉幟のルーツ。</p> <p>【手織緞通】敷物産業のルーツは1831年真田紐製造の糸物商藤本荘右衛門が中国緞通、鍋島緞通を参考に製造した「堺緞通」といわれている。1877年荘右衛門の孫荘太郎が第1回内国勲業博覧会に出品し全国的に有名になった。</p> <p>【自転車】明治時代、機械金属に優れた知識と豊かな経験を持つ堺の鉄砲鍛冶が、自転車修理や部品製造にあたり、今や堺製部品無くして日本の自転車産業は成り立たない。</p>	<p>千利休</p>  <p>行基</p> 	
		<p>資源に関連する人物伝</p>	<p>【千利休】1522（大永2）年堺の裕福な町衆、魚屋（ととや）に生まれ、早くから茶の湯に親しみ、北向道陳、武野紹鷗に師事した。茶の湯をもって織田信長、豊臣秀吉に仕え、茶道を大成し、茶道千家始祖であり、茶聖と称せられる。</p> <p>【与謝野晶子】明治・大正・昭和を短歌とともに生き、「情熱の歌人」と呼ばれた。1901（明治34）年に出版された「みだれ髪」は浪漫主義の代表作となった。また、詩、評論、古典研究など、さまざまな執筆活動を展開する一方、女性の権利に焦点をあてた評論も多く著し、当時の女性の地位向上に積極的に取り組んだ。</p> <p>【行基】「広く民衆を救う」という仏教本来の姿を取り戻すべく、一生を民間布教と社会事業に捧げた。生涯に49寺を建立し、東大寺大仏建立にも加わり、745（天平17）年聖武天皇から大僧正の位に任ぜられた。</p>	<p>与謝野晶子</p>  <p>刃物</p>  <p>和ざらし・ゆかた</p> 	
		<p>資源に関連する歴史的行事</p>	<p>堺まつり、堺刃物まつり 他</p>	<p>五月鯉幟</p>  <p>手織緞通</p> 	
		<p>原材料へのこだわり</p>	<p>【線香】選り抜かれた天然香料が特色</p>	<p>線香</p>  <p>自転車</p> 	
		<p>栽培法・製造法等へのこだわり</p>	<p>【線香】江戸時代以降、材料の微妙な割合調合とこね師と呼ばれる職人技の伝統的な精神を継承している</p> <p>【ゆかた染め】江戸時代始めに開発の「注染法」という伝統的手染めによる。表と裏を同時に染める特色</p> <p>【おぼろ昆布】高品質を保つため、熟練職人による手作り加工による</p> <p>【手織緞通】羊毛を素材とした手織の技法は熟練を要し、製品は耐用性が強く、重厚さがある</p>	<p>昆布</p>  <p>観光ボランティアガイド</p> 	
	<p>永続性</p>	<p>保全・継承への取り組み</p>	<p>「指定・選定・認定」等の登録、NPO法人堺観光ボランティア協会、社団法人堺観光コンベンション協会、堺刃物商工業協同組合連合会 他</p>		
<p>流通性</p>	<p>マスメディア登場経歴</p>	<p>NHK、民放各種TV番組多数、新聞・雑誌等各種メディア 他多数</p>			
<p>希少性</p>	<p>明確な特徴</p>	<p>時の流れを経た現在もなお、多くの分野で匠の心と技が息づいている点</p>			
	<p>地域限定</p>	<p>かつての中世一の自由都市、かつての天下の台所「大阪」の隣接地、戦国時代の鉄砲やタバコのゆかりの地</p> <p>堺まつり</p> 			

堺市 (大阪府)	ほんまもん資源	資源分類						指定・選定・認定等
	刃物・昆布・線香・和ざらしゆかた・五月鯉 織・手織緞通・自転車等の伝統技術、歴史的 人物（千利休・与謝野晶子等）	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等

【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
<p>【活動団体名称】 NPO法人 堺観光ボランティア協会</p> <p>【活動目標】 ■堺には世界的文化遺産である百舌鳥古墳群や中世の環濠都市・堺の名残りなど歴史的遺跡が豊富にある。 ■古きよき堺から、政令指定都市を目指して整備発展しつつある、新しい80万都市・堺までを、より多くの人々にPRして、より理解を深めていただくため、堺市と堺観光コンベンション協会の協力により平成7年4月に設立した。 ■堺の歴史文化をより深く知り、堺観光を楽しんでもらうため、観光ボランティアにより堺を案内する。</p>	<p>【実施事業・取り組み】 ■観光ガイド、市役所展望ロビーで小・中学生の案内、堺市等との協働事業への参加（堺まつり・大魚夜市・御堂筋パレード等）、自主イベントの企画と実施（クイズ&ウォークラリー）、観光ポイントでの清掃点検活動、他団体との交流会・見学会、公開講座、全体研修会・ガイド勉強会、ホームページ開設、ボランティアニュース発行、講演会・勉強会の企画・運営、観光PRパンフレット作成</p> <p>■観光ミニガイドコース 〈堺東観光案内所〉 Aコース：反正陵古墳→方違神社→紅谷庵方面、Bコース：展望ロビー→祥雲寺→方面、Cコース：大小路陸橋→土居川公園方面 〈堺駅観光案内所〉 Aコース：晶子立像歌碑→南蛮橋→堺事件→天誅組上陸碑→旧堺灯台他、Bコース：大浜公園→蘇鉄山登山→神明神社方面、Cコース：市小学校壁面→利休屋敷跡→頓宮方面 〈大仙公園観光案内所〉 Aコース：仁徳陵拝所→磐姫万葉歌碑方面、Bコース：堺市茶室→利休・紹鴎の像→衝角付冑型はにわ他方面、Cコース：大仙公園を西へ（晶子歌碑、日本庭園等） 〈夢浪漫本舗案内所〉 Aコース：開口神社→晶子生家跡→利休屋敷跡方面、Bコース：大小路筋→菅原神社他方面</p>	

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等

【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
<p>【活動団体名称】 社団法人 堺観光コンベンション協会</p> <p>【活動目標】 ■堺市及びその周辺地域の観光に関する事業並びにコンベンションに関する事業の振興をはかり、もって堺市の文化厚生の向上に寄与することを目的とする。</p>	<p>【実施事業・取り組み】 ■観光施設の整備及び運営に関すること。 ■観光資源の保護育成及び活用に関すること。 ■観光の催し及びコンベンション等の企画及び実施に関すること。 ■堺市が所有する観光及びコンベンション施設の受託運営に関すること。 ■観光、産業及びコンベンション施設等の宣伝紹介並びに観光客及びコンベンションの誘致受入に関すること。 ■郷土土産の宣伝及び指導育成に関すること。 ■観光及びコンベンション事業に関する情報の収集及び調査研究に関すること。 ■観光及びコンベンション関係従事者の指導育成に関すること。 ■その他本協会の目的を達成するために必要な事業。 ■平成19年第34回堺まつり事業：大パレード（来場者数延28万人）、なんばん市（来場者数延18万人）、利休のふるさと堺大茶会（来場者数延2.2万人）、前夜祭（来場者数1.4千人）、事前PR等、各種協賛行事 ■平成19年度観光宣伝事業：観光案内所運営（来所者数延4.3万人）、観光レンタサイクル運営（利用件数4.5千件）、誘致プロモーション活動・観光宣伝活動、観光魅力開発等、ロケーションサービス等の充実、都市交流等促進事業、観光・文化行事支援等 ■コンベンション事業：誘致事業（延参加者数2.8万人、延宿泊者数8.3千人）、支援事業（来場者数2.8千人） ■茶室事業：堺市茶室管理運営受託（茶会件数10件、利用者数1.7千人）、「茶の湯」文化振興（呈茶利用者数9.1千人）</p>	

堺市 (大阪府)	ほんまもん資源	資源分類						指定・選定・認定等
	刃物・昆布・線香・和ざらしゆかた・五月鯉 幟・手織緞通・自転車等の伝統技術、歴史的 人物（千利休・与謝野晶子等）	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等		
【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
【活動団体名称】 堺刃物商工業協同組合連合会	【実施事業・取り組み】 ■堺刃物伝統産業会館(堺 HAMONO ミュージアム)運営 ■堺刃物まつり ■刃物研ぎ教室 ■マイ包丁づくり ■研ぎ、銘切の製作体験	

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等		
【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
【活動団体名称】 堺注染和晒興業会		

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等		
【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
【活動団体名称】 堺式手織緞通技術保存会	【今後の実施事業】 ■堺市産業振興センター2階に織機を設置し、月曜日の13:00～16:00には実際に作業をしている様子が見学できる。 ■堺市教育委員会と協力して、堺緞通に関する情報や資料を集めてる。	

堺市 (大阪府)	ほんまもん資源	資源分類						指定・選定・認定等
	刃物・昆布・線香・和ざらしゆかた・五月鯉幟・手織織通・自転車等の伝統技術、歴史的人物（千利休・与謝野晶子等）	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク

その他

【観光】

- 来訪者が、匠の技に触れ、体験できる施策として、製作所の見学等ができる「まちかどミュージアム」に取り組んでいる。
- 他の匠の技術とともに、ものづくりマイスター制度を取り入れ、子供達や観光客を相手にその技術を見学・体験してもらっている。
- 刃物ミュージアムでは、年間2万人以上が来訪し、都市計画学会全国大会が堺であった際には、視察ルートに入るなど好評である。体験もできることから、外国人観光客も増加しており、英字解説も追加したところである。
- 2月に開催されている刃物まつりは、家庭で使用している堺の刃物のメンテナンスができることから、盛況である。
- 元々鍛冶技術が発達していたこともあり、代表的な技術として、刃物があり、和料理職人の約9割が堺の包丁を使用している。
- ニューヨークで、堺ブランドの紹介を市の主催で行っている。商工会議所と業界とで研究会を立ち上げて、伝統技術も紹介している。特に、刃物の海外展開として、和包丁を使った晩餐会も予定している。ニューヨークは女性も料理しないため、海外でも国内ではプロに人気であることが強みであり、海外でもプロをターゲットとしている。
- 淡路では有名な線香（大きな会社が機械式で生産）も、堺が発祥地である。（昔の貿易港であったため、海外から入ってくるものが多く、堺発祥が多い）
- 堺の線香も、近年はお香の方に力を入れているところも出てきた。
- 自転車博物館では、自転車教室をやっており、自転車に乗れるようになって帰ることが喜ばれている。
- 観光に力を入れ始めており、JTBとも連携し、観光バスに補助を出している。難波でパネル観光も行っている。
- モデルツアーをやっており、秋季には、日頃開帳していない寺社仏閣で開帳してもらうなどの取り組みもある。
- 旧市街地内ではレンタサイクルや観光サイン設置等も行っており、相乗効果が顕在化しつつある。
- 和菓子作りを体験できるところもあり、小学校で子どもが体験教室に参加し、PTAがその話を聞いて訪れるケースも多くなっている。

【課題】

- 堺の刃物はプロに好まれるが、手入れが大変であり、一般家庭での使用は広がっていない。また、生活様式の変化も起因して、苦戦を強いられているのが現状である。
- 堺の和ざらしは、高級品であり、中国製の安いゆかたに押され、売り上げが伸びず苦戦しており、ゆかた以外の用途も模索中である。さらに、水を大量に使用することから、下水処理の為にコスト増もあいつつ、近年は職人が減っている。
- シマノに代表される堺の自転車も有名であるが、近年は輸入品（中国）に押されている。
- 刃物製作は、鍛冶⇒砥ぎ⇒柄つけに分業化されており、ひとり親方が多く、職人の高齢化が進み、後継者の育成が問題となっている。
- 若者を呼び込むにはどうするか、ルート化されているものの、資源の点在から、その移動空間の面白みが少なく、そのあたりの改善も課題である。
- 海外展開が難しく、また、問屋を通すというので、販売ルート開けないという問題もある。
- マイスターには、講師料が23000円/回、見学は10000円/回を堺市が負担して、支払っているが、刃物事業所の見学は10人位しか見れず、バスの時間が読めないため、予定の時間に來れない等の問題もあり、マイスターの業務に支障をきたすケースもある。
- シャープの展示館は予定されていないが、今後伝統技術と先進技術とを結んだ産業観光等の展開も考えられる。
- 高山のカバンや京都の西陣等、地場産品をどこにでも売っているような状況をつくり、PRしていくことも重要である。

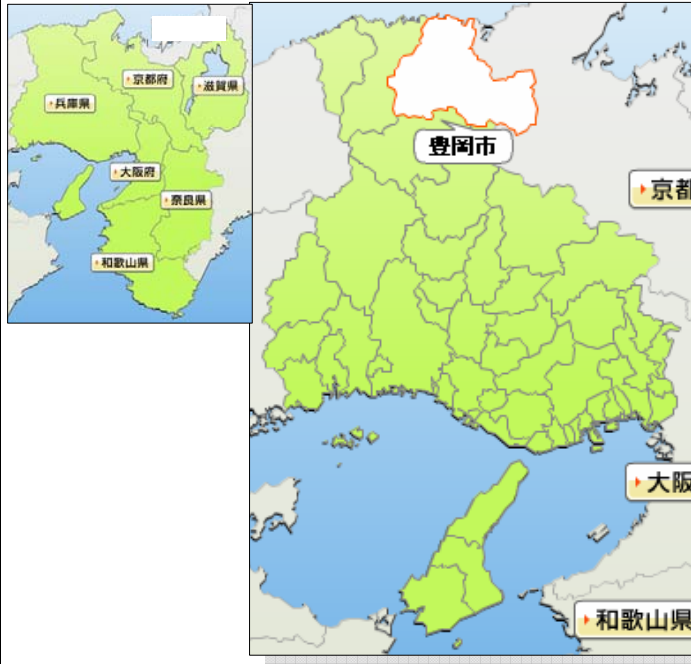



地域づくりの取り組み活動エリア

堺市 (大阪府)	ほんまもん資源	資源分類						指定・選定・認定等
	刃物・昆布・線香・和ざらしゆかた・五月鯉 幟・手織織通・自転車等の伝統技術、歴史的 人物（千利休・与謝野晶子等）	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク

地域づくり取り組み組織・団体等の参考データ

名称	構成員（従業員）等人数	創業（設立）年	連絡先・HPアドレス等
NPO法人 堺観光ボランティア協会	<ul style="list-style-type: none"> ■理事長：高三壽次郎 ■会員数：会員、活動会員約 150 名 	<ul style="list-style-type: none"> ■1995(平成 7)年 4 月 ■2008(平成 20)年 4 月 NPO法人認可 	<ul style="list-style-type: none"> ■堺市堺区中瓦町 2 丁 3-24 博愛ビル 1 F ■TEL : 072-233-0531 ■FAX : 072-233-0531 ■http://www7.ocn.ne.jp/%7Esakaikvk/ ■E-mail sakaikvk@axel.ocn.ne.jp
社団法人 堺観光コンベンション協会	<ul style="list-style-type: none"> ■会長：和田貞夫 ■会員数：322 会員 2008(平成 20)年 3 月 	<ul style="list-style-type: none"> ■1958(昭和 33)年 3 月 (社団法人堺観光協会) ■1995(平成 7)年 9 月 (現協会に改組) 	<ul style="list-style-type: none"> ■堺市堺区南瓦町 3-1 堺市役所本館 2 階 ■TEL : 072-233-5258 ■FAX : 072-233-8448 ■http://www.sakai-tcb.or.jp/ ■E-mail stcb@sakai-tcb.or.jp
堺刃物商工業協同組合連合会	<ul style="list-style-type: none"> ■会員数：堺利器卸協同組合(卸業者 37 社) 堺刃物工業協同組合(鍛造業者 21 社) 堺刃物協同組合(刃付業者 34 社) 堺利器工業協同組合(鋳業者 11 社) 堺打刃物伝統工芸士会会員(28 名) 		<ul style="list-style-type: none"> ■堺市堺区材木町西 1 丁 1 番 30 号 ■TEL : 072-227-1001 ■FAX : ■http://www.sakaihamono.or.jp/
堺注染和晒興業会			<ul style="list-style-type: none"> ■堺市中区毛穴町 324 ■TEL : 072-273-2147 ■FAX :
堺式手織織通技術保存会			<ul style="list-style-type: none"> ■堺市北区長曾根町 183-5 堺市産業振興センター 2F ■TEL : 072-255-1223 ■FAX : 072-255-5200

豊岡市 (兵庫県)	ほんまもん資源	資源分類							指定・選定・認定等
	特別天然記念物『コウノトリ』	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク	特別天然記念物 水と緑の文化を育む水の郷百選
地域づくりの取り組みの特徴・PR		野生コウノトリが日本で最後まで生息していた豊岡市は1962年「特別天然記念物コウノトリ管理団体」の指定を受け、官民一体となったコウノトリ保護活動を開始した。その結果、コウノトリの人工ふ化・人工飼育・放鳥に成功し、野生のコウノトリが棲みつくまでに至っている。コウノトリにかかる住民の想いは地域にしっかりと根付いており、あらゆる側面からコウノトリが野生に復帰できるための環境づくりへの取り組みを展開している。							

位置図		ほんまもん資源の概要			
	特徴（地域ブランド潜在能力度）		写真・図等		
	独自性	資源の歴史・文化	野生コウノトリが日本で最後まで生息していた地域		 コウノトリ  人工繁殖・飼育のコウノトリ (コウノトリの郷公園)  豊岡市マスコット 『コーちゃん』
		資源に関連する歴史作品	シリーズ但馬IV「但馬のこうのとりに」(発行：但馬文化協会)		
		資源に関連する歴史的行事	コウノトリ未来・国際かいぎ、2005年日本国際博覧会(愛知万博)出展、しずおか国際園芸博覧会出展 他		
	永続性	保全・継承	“指定・選定・認定”等の登録、コウノトリ野生復帰推進連絡協議会、NPO法人コウノトリ市民研究所、コウノトリ環境経済コンソーシアム、NPO法人コウノトリ湿地ネット 等		
		流通性	マスメディア登場経歴	NHK、民放各種番組 他多数	
希少性	明確な特徴	官民一体となった保護活動の結果、コウノトリの人工ふ化・人工飼育・放鳥に成功した。併せて、コウノトリが棲める豊かな自然環境・文化環境を創出する取り組みを続け、再び野外でコウノトリが棲みつくようになった。			
	地域限定	兵庫県豊岡市は1962年「特別天然記念物コウノトリ管理団体」の指定を受けた			
2005年試験放鳥開始		野生コウノトリ最後の年(1971年)			

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等		
【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
【活動団体名称】 コウノトリ野生復帰推進連絡協議会 【活動目標】 ■コウノトリの野生復帰推進事業の連携に関すること。 ■コウノトリの野生復帰推進を図るための方策の総合調整に関すること。 ■その他、コウノトリの野生復帰推進を図るために必要な事項に関すること。	【実施事業・取り組み】 ■保護・増殖・放鳥(県立コウノトリの郷公園で飼育、野生復帰へ放鳥) ■環境整備(田園の自然再生、里山林の整備、河川の自然再生) ■普及啓発(コウノトリ未来国際会議等の各種会議、イベントや環境学習を活用した普及啓発、「コウノトリファンクラブ」活動の推進)	

豊岡市 (兵庫県)	ほんまもん資源	資源分類							指定・選定・認定等
	特別天然記念物『コウノトリ』	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク	特別天然記念物 水と緑の文化を育む水の郷百選

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等

【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
【活動団体名称】 NPO法人コウノトリ市民研究所 【活動目標】 ■豊岡盆地の継続的な生き物調査を通して、コウノトリ野生復帰を市民の立場から支援する。	【実施事業・取り組み】 ■ピオトープづくり・調査(休耕田ピオトープづくり、ピオトープ転作試験ほの設置、田んぼの学校、ブラックバス駆除) ■豊岡盆地の生き物調査(希少動植物調査、タンポポ調査、ミズワラビ調査、メダカ調査、ホタル調査、水路・河川・湿地の生き物調査、タガメ・ゲンゴロウ大捜索、セミの抜け殻調査、赤とんぼ調査、野鳥調査、カエル調査、ひのそ島探検隊、ヒガンバナ調査など) ■ネイチャークラフト(ツルカゴづくり、ストーンペインティング、生き物切り絵) ■自然を食べる会(野草を食べる会、野生動植物大鍋、そば打ちなど) ■里山林整備(マツタケ山の復活、キノコの種を植えよう) ■コウノピアの展示(生態・標本・写真など) ■情報活動(ホームページの運営、メーリングリストの運営、毎日新聞但馬版「ながつ観察記」、読売新聞但丹版「但丹のいきもの」)。 【今後の実施事業】 ■田んぼの学校 ■豊岡盆地の生き物調査	【取り組みの推進体制】 ■平成10年5月設立。 コウノトリ野生復帰を市民の立場から応援しようと、豊岡盆地の生きもの調査やピオトープでの田んぼの学校を行い、子どもたちへの環境教育を先進的に行っている。

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等

【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
【活動団体名称】 コウノトリ環境経済コンソーシアム		【取り組みの推進体制】 ■平成18年4月設立。 市内の事業者や個人で構成し、コウノトリツーリズムやCSR、循環エネルギー、地産地消などの研究を行っている。

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等

【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
【活動団体名称】 NPO法人コウノトリ湿地ネット 【活動目標】 コウノトリが城崎町のハチゴロウの戸島湿地を中心とした豊岡市内に将来も棲み続けられるように湿地づくりや維持管理などに取り組む	【実施事業・取り組み】 ■住民や行政等と連携した湿地の拡大や保全 ■餌生物や採餌環境の調査や研究 ■生息地保全に向けた普及啓発 ■円山川下流域をラムサール条約に登録する運動や環境教育など	【取り組みの推進体制】 ■平成19年9月設立。 コウノトリと人が共に幸せになれる環境づくりを行うため、エサ場となる湿地の確保や創出等を行っている。 ■平成21年1月からはハチゴロウの戸島湿地の指定管理者となった。

豊岡市 (兵庫県)	ほんまもん資源	資源分類							指定・選定・認定等
	特別天然記念物『コウノトリ』	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク	特別天然記念物 水と緑の文化を育む水の郷百選

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等		
【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
<p>【活動団体名称】 コウノトリファンクラブ</p> <p>【活動目標】 ■コウノトリのふるさと但馬の自然環境保全・再生を支援し、野生復帰を目指す地域の取り組みを応援する。</p>	<p>【今後の実施事業】 ■自然環境の保全・再生への支援(放棄田の復田化、ビオトープ化、営巣木や人工巣塔の整備、水田魚道の設置、放鳥拠点への餌生物の補充等) ■ボランティア活動や環境学習(水田・河川・里山の生きもの調査、水田・河川・里山の再生活動、コウノトリ飼育体験、コウノトリ追跡観察教室等) ■コウノトリ目撃情報の収集(放鳥後のコウノトリや野生コウノトリ目撃情報の収集) ■野生復帰活動の情報発信(会報誌の発行、ホームページの開設) ■野生復帰への意見・提案募集(野生復帰への意見・提案を募集し会報誌・HPで紹介) ■ファンクラブの集い(記念講演、会員間の交流会、コウノトリとのふれあい体験) ■2008 コウノトリ写真コンクール</p> <p>【今後の実施事業】 ■人工巣塔寄贈</p>	

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等		
【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
<p>【活動団体名称】 たじま農業協同組合</p> <p>【活動目標】 ■農薬や化学肥料の削減というだけでなく、水田で安全安心なおいしいお米と生き物を同時に育むという要素と、この農法を通して、コウノトリも棲める豊かな文化、地域、環境づくりを目指す。</p>	<p>【実施事業・取り組み】 ■コウノトリプロジェクトチームを発足させて新たな施策や事業を導入し、水田でコウノトリが安心して餌を啄むことのできる農法の確立を地域の先進的な農業者とともに行う。 ■2006年には約100haの栽培面積を有するに至っている。</p>	<p>【取り組みの推進体制】 平成18年に「コウノトリ育む農法」(おいしいお米と多様な生き物を育み、コウノトリも住める豊かな文化、地域、環境づくりを目指すための農法)を普及するために「コウノトリ育むお米生産部会」を51名(法人、団体、営農組織含)で発足。</p>

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等		
【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
<p>【活動団体名称】 但馬文化協会</p>		

豊岡市 (兵庫県)	ほんまもん資源	資源分類							指定・選定・認定等
	特別天然記念物『コウノトリ』	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク	特別天然記念物 水と緑の文化を育む水の郷百選

その他

【コウノトリを活かしたまちづくりの考え方及び課題】

- 他からもってきた資源でも地域の活性化は可能だが、地域のオリジナル資源を掘り下げ、突き詰めていくことが大切であり、豊岡のコウノトリの取り組みはまさにそこからスタートしたものである。
- かつて当たり前に暮らしの中にいたコウノトリが、目の前で減少し減んでいく姿を見た。「あの美しい鳥を救おう」という純粋な思いは、保護増殖につながり、再導入・野生復帰へとつながった。やがて、「実は私たちにとっての環境問題である」という気づきにより、市全体を巻き込んだまちづくりの動きへと広がっていった。
- コウノトリ野生復帰の取り組みは多方面に及ぶ。コウノトリだけを突き詰めているように見えるが、コウノトリをシンボルとした取り組みを牽引役にして、他の施策にも好影響を及ぼすということを意識してやっている。
- 「自分の足元をとことん掘り下げていくと、あるとき地下水脈にぶち当たり、横につながる普遍性を獲得する。さまざまな地域がそれぞれのオリジナルを追求し、普遍性の部分で横に連携していけば、地域から日本全体を賑やかにできる。」(豊岡市長談)
- 豊岡では、現在までに「コウノトリ野生復帰 → 環境(自然・文化)基本計画 → 環境経済戦略 → 経済成長戦略 → 知の拠点」という展開が見られる。取り組みを進める上で、やみ雲に突っ走るのも良いが、こうした全体像を描くことも大切なこと。
- ただし、あまり遠く先を見ると誰も不安にあり、信じられなくなるので、目の前を一步一步進めること。具体的な中間目標を一つずつクリアし、成果を積み重ねていく姿勢が必要だと考える。
- 平成17年4月の合併で、市域が大きくなった。コウノトリをシンボルにした豊岡独自の取り組みをさらに一体感を持って進めること。そのためにも、住民に実感してもらえるような具体的な施策を展開していくこと。
- 「自分のまちって、実はスゴく面白いところだ」という誇りを持ってもらえるようなまちづくりを進めること。

【その他の取り組み】

豊岡市(コウノトリ共生部 コウノトリ共生課 コウノトリ共生係)

- 『コウノトリ野生復帰学術研究補助制度』(2004年)
 - ・平成16年度から「コウノトリの野生復帰」を基本テーマに、それを取り巻く豊岡の自然・社会環境に関する調査・研究を行う学生を支援
 - ・学術的な研究フィールドとしての豊岡の魅力を市外に広く認知してもらうと同時に、豊岡ならではの「知」の蓄積を狙いとする。

国土交通省

- コウノトリと共生する川づくり(2000年)
- ・円山川河川敷のピオトープ化(湿地の再生) ・円山川自然再生計画(生物調査と計画策定 2003年～)

兵庫県

- コウノトリの郷公園の設置(1999年)
 - ・コウノトリという種を将来にわたって保護し、野生化に向けた様々な研究と試みを行う拠点
 - ・他のコウノトリの飼育施設・大学・研究機関等とも協力し合う

- 田園生態研究部(姫路工業大学自然・環境科学研究所)の設置(1999年)
- コウノトリ翔る地域づくり担当参事の設置(2002年)
 - ・兵庫県但馬県民局企画調整部にコウノトリ翔る地域づくり担当参事を設置。
- コウノトリ野生復帰の総合調整(2003年)
 - ・コウノトリ野生復帰推進計画の策定 ・推進連絡協議会の設置(2003年～) ・コウノトリ野生復帰技術方策検討会(2003年～)

- 環境創造型農業の推進(2003年～)
 - ・減農薬・無農薬農業の実証事業
- 地域環境保全創造活動の推進(2003年～)
 - ・生態系保全型水田整備推進事業:ほ場整備実施中の水田においてコンクリート三面張り水路工法に変え、環境保全工法を取入れた整備を行う。

- コウノトリと共生する川づくり(2002年～)
 - ・円山川水系自然再生計画:生物調査と計画策定
- JR西日本**
 - 『幸せの始発駅』(2003年～)
 - ・JR豊岡駅横に、田園風景を描いた手づくりのコウノトリ展示スペースを開設 ・コウノトリの形をした模型や巨大絵馬、幸せの鐘などを置き、観光客にコウノトリをアピール 特製オレンジカード発売。

- JAたじま**
 - 『コウノトリの贈りもの』(2003年～)
 - ・減農薬・無農薬等で栽培された但馬地域産の農作物(青菜等)について、栽培履歴等の基準をクリアしたものを認定して広く販売。
 - ・但馬地域の豊かな自然に育まれた農作物に、幸せを運ぶコウノトリのイメージを付加している。

地域づくりの取り組み活動エリア

The map illustrates the 'Oriental White Stork' activity zones in Toyooka City. Key areas include:

- コウノトリ野生ゾーン** (Oriental White Stork Wild Zone)
- コウノトリ自然野化ゾーン** (Oriental White Stork Natural Wilding Zone)
- 自然ゾーン** (Natural Zone)
- 繁殖ゲージ** (Breeding Cage)
- 公開ゲージ** (Public Cage)
- センターゾーン** (Center Zone)
- 野生化研究センターゾーン** (Wilding Research Center Zone)
- 自然観察・学習ゾーン** (Natural Observation and Learning Zone)
- 登山安全ゾーン** (Mountain Safety Zone)
- 飼育管理棟** (Breeding Management Building)
- コウノトリ文化館** (Oriental White Stork Culture Hall)
- コウノトリの郷公園** (Oriental White Stork Hometown Park)








Additional features shown include a compass rose, a '湿地' (Wetland), '観音堂' (Kannon Hall), '登山道' (Hiking Trail), and '駅前' (Station Front). Inset photos show the '飼育管理棟', '繁殖ゲージ', '公開ゲージ', and 'コウノトリ文化館'.

豊岡市 (兵庫県)	ほんまもん資源	資源分類						指定・選定・認定等
	特別天然記念物『コウノトリ』	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク

地域づくり取り組み組織・団体等の参考データ

名称	構成員（従業員）等人数	創業（設立）年	連絡先・HPアドレス等
コウノトリ野生復帰推進連絡協議会 ■2005(平成17)年『関西元気文化圏賞』特別賞(主催:関西元気文化圏推進協議)	■会長:保田茂 ■24 関係団体、住民、学識者、行政(国、県、市) ■事務局:兵庫県但馬県民局企画調整部 コウノトリ翔る地域づくり担当	■2003(平成)15年7月	■豊岡市幸町7番11号 兵庫県但馬県民局企画調整部 コウノトリ翔る地域づくり担当 ■TEL:0796-26-3616 ■FAX:0796-24-7490
NPO法人コウノトリ市民研究所 ■2002年8月『コココーラ環境教育賞』主催者賞 ■2003年5月『野生生物保護功労者表彰』環境省自然環境局長賞 ■2004年1月『第1回田園自然再生生活活動コンクール』農林水産大臣賞 ■2005年6月『環境省環境管理局水環境部長賞』『ふれあい大賞』兵庫県知事賞 ■2006年6月『環境保全功労者知事表彰』団体の部兵庫県知事賞 ■2007年4月『河川美化・愛護活動功労団体表彰』円山川を美しくする協議会長賞 11月『地方自治法施行六十周年記念式典地方自治功労者表彰』総務大臣賞 ■2008年5月『神戸新聞環境賞』	■代表理事:上田尚志 ■事務局:コウノトリ文化館内 ■会員数:主任研究員22人、研究員:約70家族・個人(2008年5月現在)	■1998(平成10)年5月	■豊岡市祥雲寺128番地 コウノトリ文化館(コウノピア)内 ■TEL:0796-23-7750 ■FAX:0796-23-8005 ■http://www.kounotori.org/ ■E-mail info@kounotori.org
コウノトリ環境経済コンソーシアム		■平成18年4月設立	
コウノトリ湿地ネット		■平成19年9月設立	
コウノトリファンクラブ	■会長:柳生博 ■事務局:兵庫県但馬県民局企画調整部 コウノトリ翔る地域づくり担当 ■会員数:1,100人(2006年1月1日現在)	■2004(平成)16年8月	■豊岡市幸町7番11号 兵庫県但馬県民局企画調整部 コウノトリ翔る地域づくり担当 ■TEL:0796-26-3616 ■FAX:0796-24-7490 ■http://www.tajima-portal.com/kounotori/index_pc.html
但馬文化教会			
たじま農業協同組合		■平成18年	

兵庫運河 (神戸市)	ほんまもん資源		資源分類						指定・選定・認定等
	兵庫運河		農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク
地域づくりの取り組みの特徴・PR	かつて神田兵右衛門が私財をなげうってまでやり遂げた日本最大級の運河。近年では貯木場と化し、埋もれてしまっていたこの資源を、地域住民と事業者が一体となり、景観美化に努め、地域住民憩いの場の再生に取り組んでいる。また、レガッタという水上競技に着目し、環境整備を行った結果、日本ボート協会短水路普及コース全国第一号として承認された。今では地域のランドマークとして生まれ変わろうとしている。								

位置図		ほんまもん資源の概要		
	特徴(ほんまもん潜在能力度)		写真・図等	
	独自性	資源の歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ■「大輪田の泊」と呼ばれていた奈良時代から良港として知られ、平清盛の時代には宋との貿易拠点となっていた。 ■明治期より造船所や工場が並び市の中核を担う産業集積地であった。 ■勝海舟が設計した和田岬砲台(三菱電機(株)神戸製作所敷地内) 	  
		資源に関連する人物伝	<p>【神田兵右衛門】兵庫出在家町の豪商・初代神戸市会議長で、兵庫運河の築造を計画した。兵庫県と伊丹の小西新右衛門、兵庫の北風荘右衛門から5万円の資金提供を受け『新川社』を設立し、1874(明治7)年に着工したが工事は難航し、1876(明治9)年に船舶の避難地として新川運河だけが完成した。建設費用は12万6,900円に登り、最後には私財を投げ打ってまで運河の掘削をやり遂げた。</p> <p>【八尾善四郎】神田兵右衛門の仕事を受け継ぎ、風波が高く船の難所であった和田岬を迂回するバイパスとして1896(明治29)年に着工し、1899(明治32)年12月に兵庫運河全体が完成した。</p>	<p>神田兵右衛門</p> <p>八尾善四郎</p> <p>兵庫運河</p>
		資源に関連する歴史的行事	『兵庫運河開削100周年記念事業』(平成11年度)で、兵庫運河クルーズ・運河ワークショップツアー・運河水上ステージ・兵庫「津の道」歴史探訪ウォークが開催された。	 
	永続性	保全・継承への取り組み	“指定・選定・認定”等の登録、兵庫運河魅力再発見プロジェクト協議会、キャナル(運河)レガッタ神戸実行委員会、兵庫運河を美しくする会、兵庫運河真珠貝プロジェクト	<p>新川運河キャナルプロムナード</p> <p>新川運河キャナルプロムナード</p>
	流通性	マスメディア登場経歴	新聞各紙 他	
シンボル性	場所	平成5年に市民に親しまれる運河沿いの空間、散策道として神戸市により「新川運河キャナルプロムナード(延長約350m)」が整備された。水上広場やベンチ、植栽などがあり、市民の憩いの場となっている。	<p>キャナルレガッタ</p>	
希少性	明確な特徴	兵庫・新川・苅藻という3運河の総称で、1899(明治)32年に完成した水面積が約34ha、全長7kmと日本最大級である点		
	地域限定	兵庫運河浜山レガッタコースが設定されている(日本ボート協会公認短水路普及コース全国第一号)		

兵庫運河 (神戸市)	ほんまもん資源		資源分類						指定・選定・認定等
	兵庫運河		農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等		
【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
<p>【活動団体名称】 兵庫運河魅力再発見プロジェクト協議会</p> <p>【活動目標】 ■市民や事業者との協働によって、運河水面の新たな活用と、運河沿いのプロムナード整備を行い、親水性と回遊性の向上、歴史を活かしたまちの魅力アップを図る。</p>	<p>【今後の実施事業】 ■浜山小学校前プロムナード整備 ■新川運河プロムナード改修 ■イベント開催</p>	

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等		
【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
<p>【活動団体名称】 キャナル(運河)レガッタ神戸実行委員会</p> <p>【活動目標】 ■世代や性別を問わず、レガッタをこぐ楽しみを広める。</p>	<p>【実施事業・取り組み】 ■兵庫キャナルレガッタ開催 ■小・中学生のボート教室 ■体験乗艇教室 ■初心者無料体験乗艇会(毎月1回) ■初級インストラクター講習会</p>	<p>【取り組みの推進体制】 ■平成16年までは材木が浮いていただけであり、手すりもなく危険であり汚かったため、地域住民が動き出したのがキッカケである。企画調整が地元住民にアイデア募集し平成17年より貯木場においてレガッタをはじめた。 ■活動を推進する組織を確立するために、神戸市にある総合型地域スポーツクラブを活用した。運河を挟む3つの小学校区(和田岬、明親、浜山)で、キャナルレガッタ神戸実行委員会を作った。当時浜山小学校にはボートのクラブ活動があったが、指導者のプロもいないため、活動が衰退しかけていた。 ■この地区で活動を牽引している人には、若い人が多いという特徴がある。 ■国土交通大臣が訪れたことが大きな転機。「運河の魅力再発見プロジェクト」に採択され、プロジェクトは5年計画で進行中。 ■兵庫区の支援が最も大きい。また、受益者負担ということで、活動する人の持ち出しや寄付で成り立っていた。地域の人がボランティアで手伝ってくれたので成り立つことができた。成功の要因は地元で引張っていける魅力ある人がたくさんいたから。また、「がんばっていきまっしょい」などのドラマが流行をうんだ。 ■レガッタの大会は、区が支援している。 ■レガッタは港総局から水面占用許可を得て、地元住民が全て運営している。 ■レガッタは、土日練習しているが、子供達は平日も集まって、トレーニング等ができるようになっていく。 ■兵庫消防署と、災害時にボートを出すための「防災ボランティア協定：はちどりネット」を結んでおり、平成19年には、救助した事例もある。</p> <p>【課題】 ■レガッタの倉庫は地元企業から空き倉庫を無償で借りられているが、有償だと苦しい状況にある。ボートのレンタル代を運営資金に当てている。今後は、自前の艇庫や照明設備等を整備していきたいとの要望がある。 ■コアな人間が先行しすぎて、新しい人材が参画できにくくなっているかもしれない。ソフトの方がついて来れない現状を感じている</p>

兵庫運河 (神戸市)	ほんまもん資源		資源分類					指定・選定・認定等	
	兵庫運河		農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等		
【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
<p>【活動団体名称】 兵庫運河を美しくする会</p> <p>【活動目標】 ■兵庫運河の水質の浄化と、周辺の景観の美化を通じて、地域社会に貢献することを目的とする。(会員の利用する運河水面その他汚染防止に必要な共同施設の維持、運河水質に関する知識の普及・情報の提供、運河水面の汚染防止、周辺の景観の美化に関する事業)</p>	<p>【実施事業・取り組み】 ■運河内の不法投棄物(自転車、バイク、その他のごみ)の引き上げ及び運河周辺道路の清掃活動(年2回) ■砂場を作り水質の浄化を図る為アサリを放流する。 ■住民の美化意識啓発のため、幟を作って運河流域に立てる(年2回) ■運河に生息している魚介類及び鳥類の調査 ■新規会員の入会促進 ■会報の発行 ■運河周辺に桜の木を植える。 ■尼崎運河見学、甲子園ららぽーと立体植栽見学、水陸両用車乗車ツアー ■清掃活動 ■壁画『兵庫運河の生き物たち』除幕式、「防潮堤水族園」ギャラリー完成披露式 等</p> <p>【今後の実施事業】 ■兵庫運河で確認された魚介類の壁画を作成 ■運河周辺に桜の木を植える</p>	

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等		
【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
<p>【活動団体名称】 兵庫運河真珠貝プロジェクト</p> <p>【活動目標】 ■二枚貝が「摂食の際に大量の水をろ過し、水質を浄化する」作用を利用して、兵庫運河を美しくするプロジェクトである。 ■神戸市環境局が『真珠のまち神戸』における水質浄化のシンボルとして「アコヤ貝」に着目して行ったアコヤ貝の生息実験(2005(平成)17年10月から)を契機に、兵庫区内小学校PTA会長有志が発起人となり、市民活動として始動(2007(平成)19年3月設立準備会)した。 ■環境保全活動の一環として地元の小学生とその父兄がアコヤ貝を育て、体験を通じた環境学習を行うことにより、子どもたちの豊かな情操を育むことを目的とする。</p>	<p>【実施事業・取り組み】 ■真珠が生まれるまでの一連の作業(珠入れ、育成、浜揚げ) ■実際にできた真珠でのアクセサリーを作り ■移植式 ■貝掃除 ■浜揚げ式 ■真珠抽選会 ■実績：2008年度360個の貝から261個(採取率約73%)、2007年度400個の貝から138個の真珠を採取(採取率約35%)</p>	<p>【取り組みの推進体制】 ■平成19年より「兵庫運河真珠貝プロジェクト」が、運河の水質浄化シンボル事業として始まった。当初は神戸市環境局の実験であったが、これがうまくいったことで地元でやってみることになった。 ■環境教育の一環として、真珠を取り出した後の貝殻を砕いて学校で利用する等の取り組みも検討されている。 ■真珠プロジェクトは運河を活かした文化的な取り組みとして実行している。活動資金は神戸市環境局からの支援が約半分。残りは会費等、活動の中から得ている。 ■真珠を育てることは、水質の浄化の効果がある。しかし、最も大きな効果は、水をきれいにし、ゴミは捨てない、という地域の意識醸成である。 ■神戸には真珠の会社がたくさんある。こうした会社がサポートしてくれるから、真珠のプロジェクトが成り立つ。地域の強みを活かした取り組みである。</p>

兵庫運河 (神戸市)	ほんまもん資源		資源分類						指定・選定・認定等
	兵庫運河		農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク

その他 **地域づくりの取り組み活動エリア**

【観光化】

- この地区は、観光の面では神戸市内では遅れている。近隣には史跡等も多く、観光化のポテンシャルは高い。運河はレクリエーションよりも観光で活用する方が良いのではないかという思いがある。
- JR 和田岬線は、朝晩の利用しかない。走らない線路でキャッチボールをしたり、布団を干したり、犬の散歩をしたりする。地下鉄も開通したし、地域としては必要ないのではないかという思いもある。廃線を利用した観光化も面白い。
- 産業観光という方向性が考えられる。和田岬砲台は現在、企業の敷地内にあり、正門でお願いすれば見せてもらえるが、積極的には見せようとしていない。企業のセキュリティ強化で余計に入りづらくなっている。
- 造船の浸水式も魅力的。ここで(三菱重工、川崎重工)行われる浸水式は、船が斜めに浸水するもので、スケールが大きく壮観である。市の広報等でも宣伝しており、一般の人も見ることができる。
- 川崎重工で作った新幹線の車両を試験的に走らせており、鉄道マニアが多く集まる一つの名物。休みの日にはいろいろな車両を置いてあることもあり、企業がサービスのために置いているのではないかと思う。
- 観光化に向けては、大型バスの駐車場が無いことが問題である。

【運河周辺の整備】

- 運河周辺には、日清製粉の跡地、中部下水処理場跡などの開発が行われようとしている。
- 店舗利用も一部で行われている。
- 神戸市では、景観のルールを作って、環境整備を推進していきたいと考えている。
- 運河の北側はマンションが建ち、人口が増えてきている(小学校の施設が追いつかなくなるほど)。一方、南側は人口が減少している。
- 南側などでは、新たな開発にあたって、運河に顔を向けるように指導・誘導を行うことで環境整備が進むのではないか(出入口を運河の方に設ける。建物一階をパブリックなスペースにするなど)。こうすることで、歩いて魅力ある空間になる。
- 一つの究極の手段としては、運河を(部分的に)埋めて土地利用しやすくするという方向もあるかもしれない。

【課題】

<運河に対する見方、知名度>

- “運河”の知名度が低いことが課題。関心の無い人は近所であっても知らないほど。まずはイメージアップが必要であり、“神戸”のネームバリューが強いので、まだどこもつけていない“神戸運河”の愛称をつけたらどうかと個人的には思っている。
- 運河は荷を積み上げるところという企業の意識は根強い。運河を美しくする取り組み(美しくする会)の活動をきっかけに企業(上野飼料)の壁面に絵を書くなどの動きも進みだしている。

<運河の特性からの課題>

- 和田岬付近は防潮堤が高く、水面から遠いという課題もある。安全のため、防潮堤は必要なものである。新川運河(南北方向)には閘門が設置されており、水面が高く、水面とプロムナードを近くすることができている。兵庫運河(東西方向)にも閘門をつけることで、水面を近くすることができるのではないか。その方が整備の費用も低くすむのではないか。(一方、東西方向の運河は、水の流れがあるおかげで、水がきれいである。)

<地区の目指すべき方向性>

- この付近は、まだまだ“工場”のイメージが根強い。実際、和田岬小学校の周りは三菱の施設ばかりである。何かポリシー(地区の目指すべき方向性)を持って、地区のイメージを変えていかないといけない。しかしながら、資源が豊富すぎることで、逆にポリシーを作ることを難しくしている。
- 産業のまちか?住みやすいまちか?観光化か?住民、企業等関係者が多すぎることも、地区の方向性を定めるのを難しくしている。

<その他>

- 運河の周りに“緑”が少ないことも課題。また、プロムナードは鉄道交差部などで途切れている部分があり、連続していない。
- 兵庫駅方面へ向かう道路のバリアフリー化が課題。橋脚が高く、歩道はスロープをぐるぐると回ってからでないと運河を越えられない箇所があるほどである。
- 歴史をコンセプトにした「兵庫津のみち」は、歩道整備されたが人が多く通る動線になく、あまり人は通っていない。逆に歩行者の多い経路では歩道が十分に整備されていないところがある。



兵庫運河 (神戸市)	ほんまもん資源	資源分類						指定・選定・認定等
	兵庫運河	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク
								『運河の魅力再発見プロジェクト』(国土交通省) 短水路普及コース(日本ボート協会公認全国第一号) 2006年度日本都市計画学会関西支部「関西まちづくり賞」

地域づくり取り組み組織・団体等の参考データ			
名称	構成員(従業員)等人数	創業(設立)年	連絡先・HPアドレス等
兵庫運河魅力再発見プロジェクト協議会	<ul style="list-style-type: none"> ■会長: ■事務局: ■会員数: 地元企業や自治会代表者ら 21 名 	■2008(平成)20年3月	
チャンネル(運河)レガッタ神戸実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ■兵庫運河を囲む地域にある小学校の総合型地域スポーツクラブで構成 浜山小学校、浜山Can成る倶楽部 和田岬小学校、はちのすクラブ 明親小学校、スポーツクラブ明親 	■2005(平成17)年	<ul style="list-style-type: none"> ■FAX: 078-671-1335 ■http://www.kcc.zaq.ne.jp/canal/ ■E-mail canal.regatta@gmail.com
兵庫運河を美しくする会	<ul style="list-style-type: none"> ■会長: 長野勝啓 ■会員数: 企業会員 44 社、個人会員 2 人 	■1971(昭和46)年4月	<ul style="list-style-type: none"> ■神戸市長田区梅ヶ香町1丁目1-10 (榎増田製粉所内) ■TEL: 078-681-6701 ■FAX: 078-681-6710 ■http://www.hyougounga.jp/index.html ■E-mail info@masufun.co.jp
兵庫運河真珠貝プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ■会長: 佐々木亨 ■会員数: 初年度…親子会員 55 組・131 名、賛助会員 2 名及び 1 法人 2008 年度…親子会員 72 組・168 名 ■後援: 神戸市 ■技術協力: 株式会社大月真珠、日本真珠輸出組 	■2007(平成19)年6月	<ul style="list-style-type: none"> ■神戸市兵庫区熊野町5丁目11-15 ■TEL: 090-9999-1193 ■E-mail s-toru@kcc.zaq.ne.jp canal.pearl@gmail.com (株)大月真珠ホームページ 親子で考える環境問題) ■http://www.otsuki-pearl.co.jp/project/index.html